



隊友千葉だより

平成25年1月号 千葉県隊友会事務局

〒260-0042 千葉県千葉市中央区椿森1丁目26-9コンラッドビル4階 電話 043-306-2095 FAX 043-306-2096
電子メール chibataiyuu@angel.ocn.ne.jp ホームページ http://www.chibataiyuu.com/

【事務所 開所時間】
原則として月・水・金 1000～1500
(月・水：土屋 金：内田)

予備自衛官講話

小渡朝義理事役(松戸支部会員)は、23年11月5日(月)、第2高射特科群が担任する予備自衛官召集訓練参加者62名に対し、1時間にわたり「お客様から学ぶボランティア精神」と題し、自らの体験談を例に一般社会における生活術と奉仕することの重要性を興味深く講演するとともに、隊友会活動の一端を紹介し、入会の勧誘を行った。
また、これに併せ、予備自衛官 石川 廣氏に対し、県会長からの表彰状を伝達した。

第7回県隊友会

ゴルフコンペ開催

◆開催日

平成25年5月22日(水)

◆8時集合

◆場所

丸の内倶楽部(0475-3

5-3111) 長生郡長柄町

◆細部は、ホームページ、次

号(3月号)でお知らせし

ます。 幹事 白井支部

相談役交代

山作司令勇退、堀井1海佐就任
海自下総教育航空群司令 山作房彦1等海佐は、12月4日付で海将補に特別昇任のうえ退職された。山作司令には、県隊友会部隊研修の受け入れ及び退職隊員の隊友会入会への尽力等大変お世話になり衷心より感謝申し上げます。退職後は地元厚木市に在住されます。
同日付で舞鶴地方総監部管理部長から堀井 博1等海佐が着任された。
山田会長は、昨年12月20日(木)、中山沼南支部長、小倉・河西・小渡各理事役とともに新司令を表敬訪問し、相談役就任及び退職隊員の隊友会入会勧誘等会活動への協力をお願いした。司令は、相談役就任を快諾され隊友会活動への協力を表明された。



下総教育航空群司令
1等海佐 堀井 博

全自衛隊ラグビー大会

習志野自衛隊健闘するも借敗
防衛省ラグビー連盟(顧問 西元徹也隊友会会長)の主催で第55回大会が11月30日から12月5日まで女子チーム3個を含む16個駐屯地・基地チームが参加し、習志野・松戸・朝霞各駐屯地及び秩父宮ラグビー場で行われた。県からは習志野、下総及び松戸の3個チームが参加した。習志野駐屯地(第1空挺団)は、Aブロック決勝で昨年同様、船岡駐屯地(第10施設群)と対戦、後半、21対26と、1トライ・1ゴールで逆転というところまで追いつき、なおも攻め続けたが、そのまま今一歩のところで敗れた。これで船岡は11連覇を達成した。



山田正二会長 新年ご挨拶



新春のお慶びを申し上げます。



旧年中に会発展のため会員の皆様から頂きましたご支援・ご協力に感謝致しますとともに本年も引き続きご高配を賜りますようお願い申し上げます。

さて、昨年は、公益法人化2年目として、各種公益事業を展開しました。中でも火箱芳文前陸幕長、佐藤正久参議院議員、熊谷俊人千葉市長、山之上哲郎第1空挺団長及びジャーナリスト井上和彦氏を迎えて実施した県隊友会主催防災セミナー「県民・市民の安心・安全のために」は、東日本大震災から得られた教訓とその対策を広く県民にお知らせすることができた有意義な活動であったと自負しております。また、災害情報ネットワーク・災害情報協力員制度による災害情報の自衛隊への通報体制の維持、第1空挺団及び第23航空群からソマリア沖海賊対処に派遣された自衛官の激励、自衛隊殉職隊員千葉県追悼式・下総航空基地殉職隊員慰霊祭への参加、千葉県護国神社春・秋大祭での清掃・交通統制のご奉仕、大東亜戦争全戦没者慰霊団体協議会へ協力した硫黄島遺骨帰還事業への参加、更には各支部で実施されているト

ライアスロン・銃剣道等スポーツ大会支援、慰霊碑の清掃、駐屯地草刈支援、会員居住町内での防災活動・青少年育成支援等々地道な活動は、県民と自衛隊のかげ橋としての隊友会の役割を果たしたのもと思います。この他、県隊友会ゴルフコンペの開催及び隊友会本部及び県が幹旋した各種物品等販売により会員の親睦、福利厚生面での活動もできました。
本年は、これら諸事業をさらに飛躍・発展させ積極的に行うとともに、防災ボランティア要員及びボランティア人材バンクを充実してまいりたいと思います。また会員の増勢及び収益事業の着実な実施による内部態勢・財務基盤の強化並びに会員の親睦・福利厚生面の充実を図ることも重要であります。この様な事業を推進するには各支部長さんを核心とする支部活動の充実及び会員皆様のご支援・ご協力が必要です。かさねがさね宜しくお願ひ申し上げます。
終わりにになりましたが、ご家族を含めた会員の皆様のご健勝をお祈り致しますとともに震災の早期復興と南スーダン、ソマリア沖及び尖閣諸島周辺等、国内外で任務につく自衛隊員の安全と活躍を祈念し、新年のご挨拶と致します。

事務局からの連絡事項

◆平成25年度 県隊友会 通常総会・表彰式・防衛講演会
平成25年4月23日(火)午後 三井ガーデンホテル千葉(千葉市中央区)で開催予定です。
◆平成24年度 千葉県自衛隊入隊予定者激励会及び音楽会
平成25年3月9日(土) 12時30分～16時 青葉の森公園芸術文化ホール(千葉市中央区)において県父兄会主催(県隊友会・県自衛隊協力会・県援護協力会共催)で本年の自衛隊各種学校入校者及び入隊者の門出をお祝いします。皆様の参加をお願いします。
◆年会費納入・会運営協力費のお願い
隊友紙1月号配付にあわせ払込用紙を同封致します。年度会員の皆様は、年会費3千円をお願いいたします。また、入会11年を経過した75歳未満の終身会員の皆様には県隊友会の財務基盤改善のため会運営協力費(寄付、年会費と同額3千円)をお願いしております。
お手数ですが努めて本年3月末日までに納入をお願いします。なお、会運営協力費は寄付控除が受けられますので、領収証ご希望の方は、県本部事務局までご連絡下さい。県会長名で領収証を発行致します。払い込み時の「加入者名」は千葉県隊友会「口座番号」は001700101124です。

県隊友会 防衛大臣感謝状を頂く



県隊友会は、先の東日本大震災において災害派遣に従事した自衛隊部隊を激励・支援した功績により森本防衛大臣から感謝状を贈呈されました。12月14日、木更津駐屯地において伝達式が行われ会長代理として柏谷健蔵木更津支部長が伝達を受けました。

千葉地本年末餅つき行事

千葉地方協力本部（本部長 阿部 智一海佐）は、昨年12月8日（土）、恒例の餅つき行事を行い、県から山田会長、内田理事役及び事務局長が参加した。

折しも、北朝鮮によるミサイル発射予告に伴い、12月7日、自衛隊法第82条の3第3項に基づきBMD統合任務部隊指揮官である航空総隊司令官に「弾道ミサイル等に対する破壊措置命令」が発令されていることから、餅つきそのものは行われなかったが、臼井日出男元防衛庁長官（千葉県自衛隊協力会連合会顧問）を始め、日頃から千葉地本の募集・援護・広報業務へ協力している企業・自衛隊協力団体・OB及び現役隊員多数が参加・懇談し、和気あいあい、賑やかに行われた。

この中で千葉地本の各種業務へ協力した方々へ感謝状が贈呈され、内田幸子県理事役が募集業務に協力したかどで感謝状を受賞した。



会は、地本敷地内に陸自OB会員懐かしの指揮所用天幕を展張して行われた。

特別会員等講演会

12月7日（金）、隊友会が主催し、グランドヒル市ヶ谷において日頃、隊友会活動に対しご支援頂いている東京・神奈川・埼玉及び千葉の特別会員をおさそいして行われた。県からは特別会員の宇都隆史参議院議員、正会員として山田会長、事務局長、理事役及び首藤千葉美浜支部長が参加した。また、森田健作千葉県知事及び宮本泰介習志野市長から祝電を頂き、会場で紹介された。

講師は、当初、陸自中央即応集団司令官 日高政広陸将の予定であったが、同日、弾道ミサイル等破壊措置命令が発令されたことから、急遽、副司令官の西 浩徳陸将補が代役となり、「陸上自衛隊中央即応集団と我が国の防衛」と題して、同集団の編成・任務を始め、PKO法、特別措置法及び国際緊急援助隊法に基づいて派遣されたゴラン高原派遣輸送隊、イラク復興支援隊、国連南スーダン派遣団など現在・過去の国内外活動並びに東日本大震災対処等の国内活動についてマスコミ報道に出ていない内容も含め、お話し頂き、興味深く聴いた。懇親会は、西元隊友会会長の挨拶で始まり、和気藹々賑やかに意見交換を行い親睦を深めた。



24年11月・12月入会者

祝入会【敬称略・順不同】

隊友会の発展にご協力を

- 【松戸】 森崎 真司(海) 草野 徹也(海)
- 【木更津】 原 直親(海)
- 【市川】 奥山 實(海) 山本 全紀(海)
- 【沼南】 鈴木 秀利(海)
- 【千葉若葉】 田代 孝幸(陸)
- 【千葉中央】 屋代 宜昭(陸)
- 【館山】 宇山 進一(海)
- 【船橋】 新居 久佳(陸)

第1ヘリ団年頭編隊飛行

1月8日（火）、陸自第1ヘリコプター団（団長 田中重伸陸将補）は、CH-47J輸送ヘリ等18機をもって東京湾く相模湾上空を編隊飛行し、今年一年の精進努力を誓った。飛行間、陸自中央即応集団司令官 日高政広陸将から「第1ヘリ団は、動的防衛力の中核として防衛任務及び大規模震災等対処において極めて重要な役割を担っている。このため何時代いかなる任務にも即応・完遂できる強靱な部隊であれ、航空安全の確保に万全を期せ。」との訓示を受け、団長は、「訓示を肝に銘じ、強靱なヘリ団として日々精進するとともに基本・基礎を確行し航空安全を確保する所存」と力強く答えた。



今年も首都直下地震、南海トラフ巨大地震等、あらゆる事態に即応しうる陸自に対する国民の期待は益々高まっている。このような中、ヘリ団は高い空中機動力をもって任務に即応し完遂するため即応態勢を維持しつつ練度の向上に努める。年頭の編隊飛行訓練に際し、全隊員心を一つにして今年一年の精進努力を誓う。



第1空挺団降下訓練始め

1月13日（日）、第1空挺団（団長 前田忠男陸将補）は、習志野演習場において降下訓練始めを行った。本年の訓練展示は、陸・海・空部隊の統合作戦による離島奪回という初めての想定で行われ、空挺団の他に陸自第1師団・第1ヘリコプター団、海自P-3C哨戒機、空自ベトリオット部隊等が参加した。晴天・微風の好条件の中、小野寺五典防衛大臣及び佐藤正久防衛大臣政務官他の来賓及び市民多数が視察・見学した。

